

令和7年度のスタートにあたって

校長 弘永 修二郎

令和7年度が始まりました。人事異動によりこれまで東深井小学校のために献身的に頑張っていただいた先生方が異動されました。そして、新たな力強いメンバーが加わり、今年度の東深井小学校がスタートしました。

東深井小学校は、昨年度50周年という節目を迎、今年度からまた新たな一步を歩み出しました。今後も職員全員が一丸となって、「児童一人一人をみんなで育していく」という基本方針の下、保護者の皆様や地域の方々にも協力していただき、児童が生き生きと生活できる活力のある学校づくりに努めていきたいと考えています。

そのためには東深井小学校に関わる児童・保護者・地域の方々・教職員が同じ方向を向き、児童のために、共に考え、共に汗をかきながら、さらに良い学校になるよう、それぞれの立場からできることをやっていくことが大切だと思います。

学校の主役は児童です。その児童を中心として、児童・保護者・地域の方々・教職員がそれぞれ関わりを大切にしながら児童一人ひとりをしっかりと育てていきたいと考えています。

どうか子ども達のためにご協力・ご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。



流山市立東深井小学校 グランドデザイン

学校教育目標

『となりの人を大切にする児童の育成』

【めざす児童像】

- ① 誰にでも笑顔でいさつができる、家族や仲間を大切にできる児童
- ② 素直な心を持ち、となりの人を理解し、思いやりのある児童
- ③ 基礎学力の定着に向けて、主体的に行動し、粘り強く取り組める児童
- ④ 心身共に健康で、基礎体力の向上をめざし、継続的に運動できる児童

となりの人を大切にするために・・・

- (1) 自分自身を理解できるようにする
- (2) 自分自身を大切にする
- (3) となりの人のことを理解できるようにする
- (4) となりの人から学べるようにする
- (5) となりの人の役に立てるようにする
- (6) となりの人と切磋琢磨できるようにする

笑顔

感動

元気

【めざす学校像】

「人と人との関わりを深め、生き生きと生活できる学校」

保護者の支援

地域の方々の支援

【めざす教師像】

- ① 児童から学び、児童と共に成長できる教師
- ② 謙虚で協調性があり、自分から学び吸収していく教師
- ③ 関わりを大切にし、協働できる教師